

組織マネジメント評価指標との関連性から見た ワークプレイスデザイン評価指標に関する 理論的フレームワークの提案

August 26, 2005 市川 陽子



はじめに・・・

FMの目的

ファシリティを通して企業経営に貢献すること



どういう結果を出せば「経営に貢献した」ことになるの?

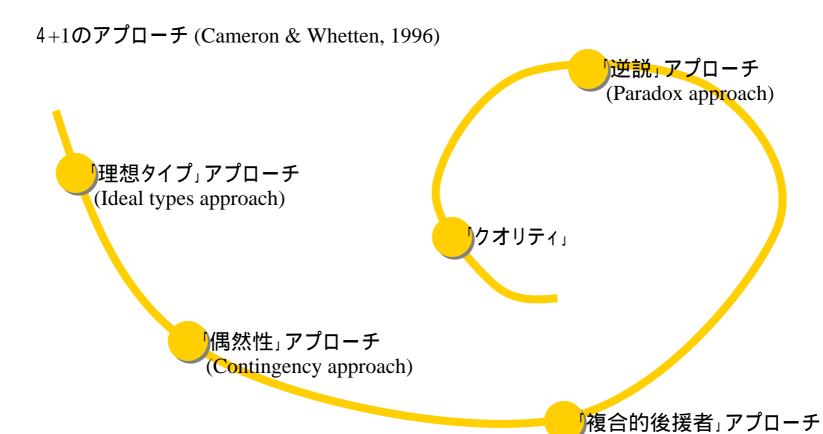
ゴール

「よい企業」ってなに???

Organizational Effectiveness (組織の有効性)

プロセス

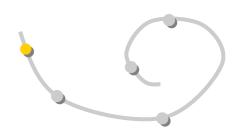
どうすれば「よい企業」になれるの?(=経営)



(Multiple constituencies approach)



「理想タイプ」アプローチ



「よい企業」としての唯一の「理想型」が存在し、その理想型に近ければ近いほどその組織は優れた組織である

目標モデル(Goal model)

どれだけ目標を達成したかーアウトプットへのフォーカス

自然システムモデル (Natural system model)

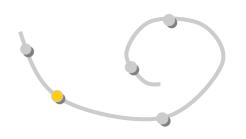
内部リソースのコントロールー人的・社会資本を中心に(人間学派)

内部プロセスモデル (Internal process model)

インプット アウトプットへのプロセスの効率性



「偶然性」アプローチ



組織全体の活動を「情報処理システム」と捉え、外部環境要件と「ベストマッチ」している 組織が優れた組織である

オープンシステムモデル(Open system model)

外部環境が企業の成功の決定要因(ポーター「5つの力」)

リソースベースモデル (Resource-based model)

外部から必要なリソースを取得する力 = 組織の成功度

整合性モデル (Congruence model)

外部環境と内部組織の4要素間(仕事·人間·構造·文化)の「FIT」

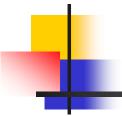


「複合的後援者」アプローチ



複数の(時には利害が相反する)ステークホルダーとの有効な関係性を維持し、 満足させている組織こそが、優れた組織である

- ·ステークホルダーのニーズに関する情報収集(CS, ES, etc.)
- ・「ラーニング」の概念
- ・アカウンタビリティ







競合価値モデル(Competing values model)

- ・各々の組織はその組織固有の「価値観」を持っており、その価値 観によって評価指標が決定される
- ・固有の「価値観」は複合的なもの の総体であり、時には相反する価 値観が同時に存在する
- ·その相反する価値観の中で「バランス」を上手にとっている組織ほど 優れた組織である

QuickTime™ and a TIFF (LZW) decompressor are needed to see this picture.







"little q" \Z" BIG Q"

little qー製品・サービスの品質向上

BIG Qー組織活動全体の向上を目指した「クオリティ文化」の形成



全ての「Effectiveness」概念 & 「Efficiency」 概念を統合する役割 マネジメント活動そのもの

- ・継続的な改善活動
- ·顧客志向
- ・ステークホルダーとの友好的関係構築
- ・企業の社会的責任へのフォーカス

人間関係モデル

手段: 結束、士気

成果: 人材開発

オープンシステムモデル

手段: フレキシビリティ、迅速さ

成果: 成長、リソース入手

<u>クオリティ</u>

内部プロセスモデル

手段:情報管理、コミュニケーション

成果: 安定性、コントロール

合理的ゴールモデル

手段: 計画、目標設定

成果: 生産性、効率性

内部重視 ←

組織のフォーカス

→外部重視



物理的ワーク環境・・・組織のリソースの一つ

組織戦略・他の組織要素とのアライメントの必要性

競合価値モデル・・・組織には複数の「価値観」が存在している

複数の「価値観」をどうバランスをとるか?



ワークプレイスデザイン評価における俯瞰的なフレームワークの必要性

個々の価値観に対してどのようにサポートしているか?

複数の組織的「価値観」をどのようなバランスでサポートしているか?

ワークプレイスの経営に対する貢献度を間接的かつ統合的に把握する

経営者の 信念・価値観 経営者による ワークプレイスコン セプトへの理解

「ウェルピーイング」ドメイン

- -従業員の健康衛生管理
- 多様なワークスタイルへの対応
- ワーク/ライフバランス支援
- 職場の士気・モチベーション向上
- 良好な人間関係
- -満足度向上

「競争力」ドメイン

- -変化への迅速・柔軟な対応
- -イノベーションへのサポート
- -テクノロジー対応の柔軟性 -企業イメージの向上

競合価値モデル

人間関係モデル

手段: 結束、士気成果: 人材開発

オープンシステムモデル 手段: フレキシビリティ、迅速さ 成果: 成長、リソース入手

クオリティ

バランス・マネジメント 継続的改善・成長 戦略的思考 企業の社会的責任

手段: 情報管理、コミュニケー ション 成果: 安定性、コントロール

内部プロセスモデル

手段: 計画、目標設定成果: 生産性、効率性

合理的ゴールモデル

「業務プロセス効率」ドメイン

- -業務効率化支援
- 利便性・アクセシビリティ
- <mark>-業務特性に応じたオフィスタイ</mark>プの提供
- -チームワーク・コミュニケーションのサポート
- テクノロジーの効果的利用

「アカウンタピリティ」ドメイン

- -施設運営費などの財務指標
- -スペース効率
- -株主価値の向上
- -資産有効活用
- コンプライアンス

内部重視

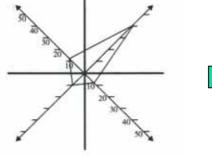
組織のフォーカス

→外部重視



バリューベース・ワークプレイスデザイン評価モデルの応用

競合価値モデル





VWDAM

ウェルビーイン グ	競争力
業務プロセス	アカウンタビリ ティ

·競合価値モデルと VWDAMのマッチン グ

・ミスマッチ 「クオリティ」による整合化の ための努力が必要 = 戦略的思考

